

伝統工芸「高岡銅器」
から生まれた先進精密
鑄造技術

株式会社 ヨネダ アドキャスト

富山県
高岡市長慶寺910

1965年(昭和40年)設立
TEL 0766(22)8184

<http://www.yac-ic.com/>



代表取締役
米田 隆志

石灰るつぼ溶解法により、チタン・クロムをはじめとした特殊金属の鑄造方法を確立。精密鑄造製品は、人工関節や研究開発用途向け自動車用部品としても多く採用されている。

高岡銅器の製造から精密鑄造へ

高岡銅器の「鑄込む」技術を、ロストワックス法によるステンレス鋼その他の精密鑄造へと展開、さらに不純物や非金属介在物の少ない材料が得られる石灰るつぼ溶解法の工業化に成功した。この工法により、チタンをはじめとする新合金や特殊金属の鑄造が可能となり、その鑄造品は、人工関節（インプラント部品）などの医療分野に多く使用されている。

迅速造型法（RP法）の導入で、研究開発用途品の鑄造を3、4ヶ月から2週間へ短縮

従来の精密鑄造法「ロストワックス法」と「迅速造型法（RP法）」によるポリエチレン模型から鑄型を作る技術を融合させ、模型作成工程を大幅に縮小させることに成功した。

膨張率の大きいポリエチレンは、鑄型に不向きであったが、独自のノウハウで本課題を克服し、通常3、4ヶ月かかる研究開発用途品を2週間程度に短縮、小ロット・短納期品に対応し、自動車用部品に多く採用されている。

常に新しい素材に挑戦

平成5年からは、特殊レアメタル分野に目を向け、半導体や記録媒体薄膜などの母材に使用されるインゴットの製造技術開発を開始し、平成19年より生産を始めている。新素材へ挑戦し技術を発展させることで、地場産業「高岡銅器」の活性化に貢献している。



ロストワックス法による鑄造の様子



精密鑄造による機能性部品